

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：企業立地対策費

事業名 テクノプラザ・本館自動火災報知設備等更新工事費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

産業デジタル推進課 IT拠点活用推進係 電話番号：058-272-1111(内3724)

E-mail：c11356@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 97,012 千円 (前年度予算額： 4,010 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,010	0	0	0	0	0	0	3,000	1,010
要求額	97,012	0	0	0	0	0	0	72,700	24,312
決定額	97,012	0	0	0	0	0	0	72,700	24,312

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

テクノプラザものづくり支援センター本館の通信・情報設備（電話交換設備・自動火災報知設備・非常放送設備・監視カメラ）は導入から25年が経過し、経年劣化により故障、不具合が生じる恐れがあり、修繕部品の調達も困難になっている。また、メーカーの修理保証期間も終了しており、通信・情報設備が使用できなくなった際には、センターの運営に多大な支障をきたす恐れがあるため、早急な更新工事が必要となる。

(2) 事業内容

通信・情報設備の更新にあたり、令和5年度に実施設計を策定し、令和6年度に更新工事を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

全額県負担

指定管理者との協定により、1ヵ所あたり60万円以上となる施設の修繕については、県が負担することとしている。

(4) 類似事業の有無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	96,610	
事務費	402	旅費150 消耗品費75 燃料費110 役務費67
合計	97,012	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

県有施設中長期保全計画（管財課）に位置づけ

R5年度：実施設計

R6年度：工事

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

テクノプラザものづくり支援センター本館の通信・情報設備を更新し、常に安心なセンター利用状態を維持する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

施設設備等の更新工事であり、具体的な達成目標を設定できない。

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	テクノプラザものづくり支援センター本館は開館から25年が経過し、経年劣化により施設設備等の修繕や備品の更新が必要となっているなかで、県民に快適に利用していただくため、適切な維持管理をする必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 テクノプラザものづくり支援センター本館は、開館から25年が経過し、経年劣化による通信・情報設備の故障が懸念されるため、通信・情報設備を更新し、今後、適切な維持管理が必要となる。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和5年度に策定した実施設計を基に、通信・情報設備の更新工事を実施する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	